

なんだ・かんだ

◆ 食糧自給率 ◆

「日本の食糧自給率は40%」という話があります。この食糧自給率というのは、カロリーベースで計算した場合の数字です。日本の場合(各国の自給率は日本の農水省が独自に推計したものであり、日本と韓国を除く海外諸国はカロリーベース総合食料自給率の計算をしていません。この計算方法について農水省は「食料安全保障の機密上出せない」との回答しています)

総合食料自給率=1人1日当たり国産供給熱量(1,016kcal) / 1人1日当たり供給熱量(2,551kcal) = 40% ということです。

この計算は分母が国民に供給されている食料の全熱量合計であり、国民が健康を維持する上で必要なカロリーではなく輸入も含めて国民に供給されている食料の全熱量の合計です。また、分子は国産で賄われた熱量で計算されます。

ここにおいて、生活するために必要なカロリー数は平均的な日本人男性、171cm 63kgで1900kcal程度。女性、158cm 52kgで1500kcal程度だそうです。2551kcalとはいかに多いか。だいたい、日本の食糧供給率は(需要に対する供給率。満腹度合いとも言えるでしょうか)は世界で唯一ほぼ100%で、なおかつ毎日2000万人分の食料を捨てている訳です。

日本の人口を1億2800万人として、2000万人分の食料をを捨てているので分子の1016kcalは実際は1億4800人分と考え、食糧を一切捨てないとすると、1175kcalになります。

また分母も、満腹に食べずに、生活するのに必要カロリー摂取量で止めておいたら、1700kcal(ちょっと厳しいかも知れませんが)となり、計算すると食糧自給率は約70%になります。

故に食糧自給率の改善の一策は、①食糧を捨てないこと。そして、②食べ過ぎないことともいえるわけです。

平成15年の農水省の試算では、食品廃棄物は製造段階で17%、流通・外食産業での食べ残し・売れ残りが25%、そして一番多いのが家庭から出る生ゴミで58%と言うことです。この生ゴミは食糧自給率の問題はもちろん、環境面(生ゴミは可燃物として処理されますが、そのほとんどが水であり焼却するためには非常に大きなエネルギーが必要となり、多量のCO2排出の原因となっています。)でも大きな問題となっています。

日本人は、贅沢病を廃し腹八分目にし、余分なものは買わない、作らない様になると、先進国で最低な食糧自給率を改善。環境問題も改善。そして、メタボ対策にもなり、ひいては国の財政を圧迫している増大する医療費抑制へとつながり、一石三丁の素晴らしい効果が得られます。食品業界の方には申し訳ないですが、良い案だとは思いませんか。



逆風こそ成長の好機

朝会社へ向かう道すがら、いつも見ている銀行のデジタル寒暖計の指す気温が10℃を下回る日が続くようになって参りました。我が家では掘りこたつが解禁となり、週末は鍋を囲む日が増えて参ります。牡蠣鍋・ちゃんこ鍋・キムチ鍋等々、鍋になると子供は野菜を食べるし、ビールや日本酒は旨いしと私の密かな冬の楽しみとなっています。

さて、金融危機から景気の減速とここ数ヶ月新聞紙上は、減産・減収・減益・赤字・倒産と言った言葉が飛び交っています。また、我々の会社の回りにも不穏な空気が吹いて参りました。予算凍結・生産調整・残業禁止等々。暗い、暗いぞ。マイナスの言葉ばかりじゃないか。やる気の起る話はないのか。と考えている中、日経の世界経営者会議で、日産のゴーン氏が言っていました。「逆風こそ経営者の腕の見せ所であり、企業を凌駕するグッドオポチュニティー(絶好の機会)だ。」と。

うーん。深い良い話だ。

代表取締役 服部 敏一郎

社員紹介

● 小坂 真弘 ●

今回の社員紹介は、当社一のイケメン男 営業部の小坂です。

営業部の小坂と申します。

私の担当させて頂いておりますお客様には日々ご迷惑をお掛け致しておりますが、お付き合い頂き誠に有り難うございます。

私の趣味は、サッカーとゴルフと週1のスポーツジム通いです。スポーツジムには、毎週、体を鍛えようと思いつくのですが、週に1回しか行かないため、毎回ドレックス程度で終了してしまい、とても体を鍛えていますとは言えない状況ですが、ランニングマシンがテレビ付きなので、ゆっくりと走りながらゴルフ中継などを観戦しておりますと、心地よい疲れに癒されます。そして、運動した後にサウナで更に汗を流し、体をカラカラにした後のビールは格別です。

また、週末などに日帰り温泉に行き、ゆっくりしたりもします。

もしお客様の中で、穴場など御存知でしたら教えて頂けたら幸いです。

何かとアナログ的な私ですが、お客様へ努める気持ちだけはいつも心得ていると思っております。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



■ ホームページをリニューアルしました ■

2年前にホームページをリニューアルしましたが、ここで再度リニューアルいたしました。中身はまださほど変わっていませんが、「社員ブログ」「社長ブログ」を追加。今後随時中身も追加・変更していきます。

今回はHP製作の専用ソフト無しで、ブラウザ上からワープロ間隔で直接入力・更新できるので、営業マンでもブログ感覚で簡単にHPを製作できるようになりました。今後皆様に有益な多くの情報を発信するようなHPにしていくつもりです。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方につきましては、その旨ご一報頂きたく思います。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com

URL http://www.chikiri.com/